

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 中学校体育連盟助成金
-------------------	-------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	1	子どもたちの生きる力を育む
小分類	3	たくましく生きるための健康や体力づくり
主要な施策	4	指導者・指導技術の充実
事務事業番号	001	事務事業コード 52134001 事業開始年度 昭和 5 7 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	中学校体育連盟助成金
------	------	------------	------------

部 名	教育部	グループ名	学校教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) スポーツを通して生徒の心身の健康を増進するとともに、学校間の親睦と交流を図る。
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 登別市内中学校及び中等教育学校の体育を振興し、健康なスポーツを通して、親睦と交流を図ることを目的として、「体育大会の開催」や「講習・研修会についての援助」等の事業を実施している登別市中学校体育連盟に対し、その活動に必要な経費の一部を補助する。 【連盟の活動実績】 ・体育大会の開催（春季、秋季） ・理事会及び専門委員会の開催（計 5 回） ・胆振東部及び胆振四地区中体連大会への参加等
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 中学校体育連盟が主催する体育大会等は、中学校生徒の部活動等における目標となるものであり、連盟の活動を通して体育振興、健康増進、生徒間交流などが推進される。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	クラブ活動数（各校累計）	種類	目標値	45	39	39	39	39
			実績値	40				
	クラブ活動加入者数	人	目標値	956	956	956	956	956
			実績値	961				

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	1,460	1,400	1,400	1,400	1,400	4,200
合 計				1,460	1,400	1,400	1,400	1,400	4,200
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	66	68			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		66	68			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 中学校体育連盟が主催する体育大会等は、中学校生徒の部活動等における目標となるものであり、体育振興、健康増進、生徒間交流などに果たす役割は大きく、その活動を支援するため助成金の交付は妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 各種体育大会を実施することにより、生徒の部活動への意欲を高め、スポーツ振興及び他校の生徒との親睦・交流を深めている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 学校間での練習試合等、生徒間交流を更に促進できるよう検討する。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 削減により、各種体育大会の実施・参加及び体育振興等を推進する環境の維持が難しくなることから、現状維持が妥当である。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	スポーツを通じて、中学校生徒の体育振興、健康増進、親睦を深める本事業は継続が必要である。 本事業を継続することで、各種体育大会の実施と生徒が参加できる環境が保障される。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）